

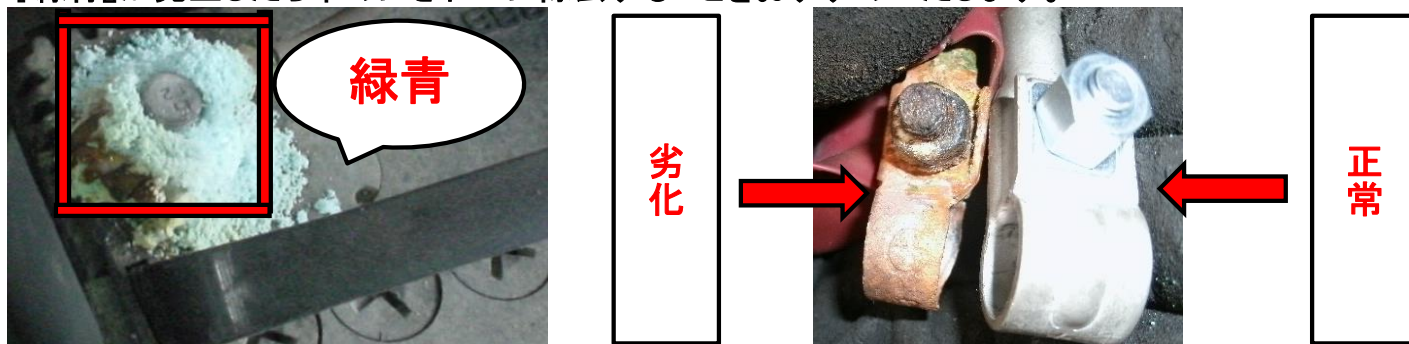


バッテリーメンテナンスについてのご案内

日頃より、メンテナンスニュースをご覧いただきありがとうございます。
 気温が下がるとエンジンの始動不良やナビの通信障害が起きていませんか？
 もしかすると、それはバッテリーの劣化が原因かもしれません。
 バッテリーの劣化が進むと始動不良が起こります。
 それを防ぐため、今回はバッテリーメンテナンスについてご紹介いたします。ぜひ、ご覧ください！

●緑青(ろくしょう)について

バッテリー内の液体である希硫酸にターミナルの銅が化学反応を起こしサビのようなものが発生します。
 バッテリー端子そのものは鉛ですが、鉛端子に接続されているケーブル線は銅です。
 その銅のサビを『緑青』といいます。『緑青』が出てサビを放置していると接触不良を引き起こします。
 接触が悪いと充電不良やターミナルの劣化、電流が流れなくなるなど様々な原因につながります。
 『緑青』が発生したら早めにきれいに除去することをおすすめいたします。



●緑青の除去方法

『緑青』はお湯や重曹、スチーマーで簡単に除去することが可能です。
 『緑青』はサビなので除去をせずエアなどで飛ばすと他の部品に付着し劣化させてしまう恐れがあるので注意して清掃を行ってください。

●コース上にてバッテリー上がり原因でカートが動かなくなる事防ぐために
 定期的にバッテリー電圧のチェック、バッテリー液の点検補水の日頃のメンテナンスと
 共にバッテリー端子の清掃がバッテリーを長持ちさせるのに大切です。

※バッテリー液の補水は1カ月に1回が目安です。バッテリー液補水時にバッテリー電圧の点検、端子の腐食の点検をおすすめします。

点検時には保護メガネやビニール手袋など保護具をしましょう。バッテリー液が衣類に付着すると溶けてしまうので注意してください。

弊社では様々なお客様のニーズに合ったメンテナンスをご提案いたしております。

- 一般修理
- 12ヶ月点検
- 保守点検・・・他

ご不明な点がございましたら担当サービスマン、営業マンにおたずねください。

皆様からのご要望がありましたらメンテナンスニュースで取り上げていきたいと思っています。

たくさんのご意見お待ちしております。

今回は東京営業所 道上が担当させていただきました。